

次年度以降の「ごみ減量化・資源化への取組方策」について

これまでのごみ減量化・資源化への取組

◎ 可燃ごみ減量化目標（令和２年度～令和６年度の５か年：４，０００トンの減量）

＜可燃ごみの年度別排出状況＞

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度 (見込み)
合 計	88,020 t	84,756 t	84,145 t	82,825 t	79,415 t	79,050トン
青森地区、浪岡地区、 広域町村 (平内町、今別町、蓬田村)	└ ▲3,264 t ─┐ └ ▲3.7% ─┐	└ ▲611 t ─┐ └ ▲0.7% ─┐	└ ▲1,320 t ─┐ └ ▲1.6% ─┐	└ ▲3,410 t ─┐ └ ▲4.1% ─┐	└ ▲365 t ─┐ └ ▲0.5% ─┐	

※これまでの、市民の皆様お一人お一人のごみ減量化・資源化に向けた行動により、一定の可燃ごみの減量化への効果がみられると考える。

前青森市総合計画の目標とする指標(目標値)の達成状況

目標とする指標	前総合計画 目標値	令和５年度 実績
1人1日当たりのごみ排出量	976 g	985 g (未達成)
リサイクル率	19.6%	13.7% (未達成)

※可燃ごみのほか、不燃ごみ・資源ごみ・粗大ごみ等を含めたごみの総排出量については、目標値を達成しておらず、特にリサイクル率の向上に向けた取組の推進が必要不可欠である。

今後のごみ減量化・資源化への取組(青森市総合計画前期基本計画に定める目標の達成)

令和６年９月２７日策定 青森市総合計画前期基本計画（2024年～2028年）

- ◎ 市民１人１日当たりのごみ排出量
- ◎ リサイクル率
- (目標値) 980 g
- (目標値) 16.3%

ごみの減量化・資源化を進めていくためには市民を巻き込んだ取組の推進が必要であり、具体的な方策として、市と町(内)会をつなぐ「青森市ごみ問題対策市民会議」の継続的な活動が不可欠である。同会議の事業内容の見直し等により総合計画前期基本計画の目標達成に向けて取り組む。

＜青森市ごみ問題対策市民会議の各種事業の主な変更点＞

○ごみ減量化モデル交付金⇒ごみ減量化・資源化推進モデル交付金

事業名を改め、これまでの減量化の活動を維持しつつ、危険物の混入を防止してリサイクルを推進する他町会等のモデルとなるような取組について交付金を交付する事業内容へと見直す。

○「ボランティア清掃推進事業」の創設【新規】

新たに事業を創設し、地域におけるごみ問題に対する実践活動を通じて、明るく住みよいまちづくりを推進するため、「ボランティアごみ袋の配布」を実施する。